

## 共同運営部門：内視鏡検査センター

### —スタッフ—

役 職	スタッフ名
内視鏡センター長 兼消化器内科部長	高谷 宏樹
非常勤医師	月曜 午前2名, 午後1名 火曜 午前午後2名 水曜 午前午後2名 木曜 午前1名, 午後2名 金曜 午前2名, 午後1名

### —概要—

2017年1月以降高谷赴任に伴い、消化器内科入院での大腸EMR、外来での大腸ポリープポリミー、食道胃ESD、待機的ERCP、緊急ERCPが行えるようになり、内視鏡件数、処置数、単価が大幅に増加している。

内視鏡学会指導医・専門医1名、専門医2名(内外科医1名)が当院に常勤として在籍しており日本消化器内視鏡学会認定指導施設となっている。

当院で研鑽を積むことで日本消化器内視鏡学会認定専門医、指導医の取得が可能である。

### —実績—

#### 内視鏡件数

上部内視鏡検査	2,478件
止血術	30件
ステント留置	8件
EUS	25件
ESD	26件
胆膵内視鏡検査	
ERCP	206件
EUS	29件
下部内視鏡検査	1,384件
止血術	25件
粘膜切除術	242件
ポリペクトミー	68件
ステント留置	12件

### —今年度の成果と反省点・来年度への抱負—

2018年3月に超音波内視鏡専用機2本、観測装置を整備していただき、膵嚢胞、IPMN、膵がん、胆管結石、胆嚢ポリープ、胆のうがんに対してEUS,EUS-FNA施行可能となった。また上部下部内視鏡でも拡大観察のできるスコープ、処置用のスコープを整備していただき消化管の精査、過料も行える体制ができた。検査数、処置数も大幅に増加している。

消化器内科非常勤医師の増加により検査可能枠も増加できた。その分、常勤医は処置に専念しやすくなり処置数も大幅に増やすことができた。

今後検査室の増床を行うことでますます検査数、処置数を増やしていくことが可能である。

今後は胆膵超音波内視鏡で膵がんの早期診断、ERCP困難症例に対する超音波内視鏡下処置を行っていくとともに、住民検診の胃カメラ検診、大腸CTで大腸内視鏡検査をためらう患者様の病変の早期発見を行い、内視鏡治療につなげていく予定である。